

萩市立旭中学校で「森の学校」を実施

令和6年12月3日（火）、萩市立旭中学校2年生8名を対象に、地元林業研究グループ「旭林業振興会」が森の学校を行いました。

この活動は、次代の担い手である中学生を対象に、森林の働きや林業の必要性などについて、体験を通して理解を深めてもらうために行われました。

はじめに、振興会長から森林の働きや林業の仕事について話を聞きました。

その後、林内に入り、森林組合職員から枝打ちの手本を見せてもらい、枝打ちの体験をしました。生徒たちは、最初は慣れない手つきでのこぎりを扱っていましたが、次第に慣れ、楽しそうに次々と枝打ちをしていました。

つぎに、間伐体験をしました。枝打ちと同様、森林組合職員から間伐の手本を見せてもらい、生徒が順番に協力しながら間伐を行いました。枝打ちと異なり、のこぎりが木の間に挟まり、のこぎりを動かすのにコツがいましたが、見守る生徒の応援を受けながら間伐をしました。

生徒たちは、初めての体験が楽しかったようで、この体験を機に、身近な森林や林業に興味を持ってもらえることを期待しています。



森林の話



間伐体験